

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 13 日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	・部屋を決めている。 ・人数に応じて使用する部屋の使い分け分けをしている。	・各部屋のスペースによって個別療育、集団療育等に利用しているが、もう少し広い方がいいと思う。
	2 職員の配置数は適切である	9	3	・安全に配慮している。 ・規定人数より多く配置し、利用者対応をしている。	・視野を広くし、目の行き届かない場所が無いようにする。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	3	・写真等を活動し、視覚的支援を行っている。	・独歩可能な児童については活動できるが、身体介助が必要な児童においては、快適、安全な設備が十分ではなく、ベット等が設備されているといいと思う。イスも安定感のある物が良い。 ・ほぼバリアフリー化されているが、玄関や非常口や他のフロア利用時等で、エレベーターが使えない時は、不便な事はある(階段しか使えない)。 ・児発に合わせた椅子がないため、改善すべきである。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	・毎日、部屋やトイレの清掃、消毒、おもちゃや手すりの消毒を行っている。また、月1回清掃活動日を設け、日頃行き届かない個所の清掃を行っている。	・未就学児童を受け入れるにあたっての用具や備品としては向いていない物が多いため、ジュニアチェア等もあると思う。 ・幼い時の療育物が足りない。この先、人数が増えた場合、改善すべきである。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	・各自意識して取り組んでいる。 ・処遇会議、常勤会議、ミーティング等を月1回必ず開催し、取り組んでいる。	・目標設定や振り返りはされており、各職員も意識取り組みしているが、認識や理解の違いがあるため、会議等での徹底が必要。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	1	・毎年の評価結果を基に、次年度の業務計画を作成し、業務改善に努めている。	・保護者へのアンケートをもとに、改善できる部分や公開希望があった物については参観等も利用し公開する他改善している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	・法人HPIにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7	・研修等で問題と思われる事に適した内容の事を外部へ依頼して事務へ繋げられるように実施している。	・第三者による外部評価はない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	・外部研修への参加、内部研修、利用者対応研修、専門的研修等を定期的に開催している。 ・学び得たことを実践できるように心がけている。	・支援内容の統一も含むも不十分な時は、研修を重ねて実施する他、その時々気づいた事等、注意しあっている。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回ケアプラン見直し、更新時に保護者に聞き取りを行い、作成している。 ・他職員からの意見も取り入れるようにしている。 	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・台帳を使用し、聞き取りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールはないが、ケアプランに問題点を記入する欄があり、活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と話し合い個々に応じた支援内容に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在児童発達支援利用者はいない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、支援計画を確認しながら支援を行っている。 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当で立案し、行っている。 ・処遇会議等で話し合っている。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、各職員が試行錯誤している。 ・処遇会議等で話し合っている。 ・毎年担当者を変更し、行っている。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個別状況に合わせて、計画作成している。 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や朝礼等で打ち合わせをして、取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は朝礼にて、長期休暇時は前日の終礼及び当日の朝礼にて確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼でしている。 ・気づきなどがあれば、全職員に共有するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の日、朝礼にて報告している。その日の内に伝達すべき事は、利用当初に職員間で伝達している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の事はケース記録に記入し、支援の改善に繋げている。 ・その都度、職員間で話し合うようにしている 	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにしているが必要であればその都度行っている。 ・職員内で話し合いなどを行い、計画の見直しが必要かどうかを判断している。 		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	・コロナ禍なので、電話や文章に起こして、管理者に渡し回答している。 ・ケアプラン担当者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	1	・保護者を通じて行うことが多い。 ・相談支援員と連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	2	・主は家族との連携となり、疑問があれば家人へ問い合わせている。 ・相談支援員と連携している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	4	・保護者を通じて行うことが多い。	・異常があった場合どこが金融搬送先となるか必ず聞き取り、何かあった場合はその医療機関に搬送するようにしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	3	・保護者を通じて行うことが多い。 ・相談支援員と連携している。 ・情報共有に関しては、不足しているところなどがないよう心がけている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	2	・送迎時に学校での様子の聞き取り等を行っている。 ・相談支援員、保護者を通じて行っている。 ・大切なことなどの情報共有は誤りなどがないようしっかり伝えるようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	・宇部市発達障害等相談支援センター「そらいろ」から講師を招き、研修を実施した。 ・外部研修へ参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8		・地域の公園にて公園遊びをするときに一緒に遊ぶことがある。 ・コロナの状況が落ち着けば積極的に取り組んでも良いと思う。 ・そのような機会があるかどうか把握できていない為、そこが改善すべき点である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	4		・子供支援ネットへの参加を予定していたが、コロナにて参加できていない。 ・そのような機会があれば積極的に参加してみたいと思う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	・迎えや送迎時に伝えるようにしている。 ・苑での様子を伝えるだけでなく、近況を聞くことで新しい変化や情報収集ができるように意識している。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	7	・聞き取りの際に行うよう心掛けている。 ・保護者からの相談があれば、職員間で検討し、対応を行う。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	・契約時に表を元に担当者が説明し、また必要に応じて随時対応している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0	・必ず保護者へ支援計画を作成し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	・送迎時に何か問題への問い合わせ等があれば回答している。 ・相談があった場合は、職員間で検討し、対応している。 ・必要に応じて相談支援員とも連携を図り、適したサービスや、助言のアドバイスをもらい繋がるように取り組んでいる。 ・聞き取りの際に一緒に行うようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3		・計画はしているが、近年コロナにて行っていない。 ・2回保護者参観の開催を予定していたがコロナ感染の利用者等がでたり、コロナの影響で2回とも中止となった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	・職員間での内容の共有をするとともに相談を行い管理者の助言、アドバイスの元、対応するようにしている。 ・保護者からあれば職員間で話し、検討対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	・連絡帳を利用している。 ・年間行事予定表の配布、広報誌「ととて」の年2回の発行及び創刊号の発行、一斉メールの活用等を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0	・十分に注意している。 ・職員契約時に書類に署名している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	・利用者に合わせて対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	5		・住民ではなく、市役所他、相談支援員を呼んで見学会を行った。 ・夏祭り等を行っているが、現状コロナ禍で難しい。 ・行う際には感染症対策の徹底を行う。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回程度は避難ルートの確認も含め実施している。 ・各種マニュアルを作成し、広報誌にへ掲載、苑内への掲示、研修の開催を行っている。 	・職員間では出来ていると思うが保護者への周知はもっと必要に感じる。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回避難訓練、防火訓練を行っている。 ・子供と一緒に避難所まで訓練実施している。 	・避難する訓練はできているが、もっと利用児が参加した方が良いと思う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通じて行っている。 ・個別支援計画書を作成時、見直し時、更新時に、保護者に聞き取りを行い確認している。 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にアレルギーについてアンケートを配布し、回答を得て、職員間で周知し、対応している(飲み薬との関係にも注意している)。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった場合はすぐに共有している。 ・定期的に職員内で話し合いを行っている。 ・研修機会を設定し、職員間で対応している。 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加、内部研修の開催を行っている。 ・研修などを行い、適切な対応ができるよう心掛けている。 	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすについての拘束(ベルト)をプランに盛り込んでいる。 ・必要に応じて保護者への説明、支援計画の記載をし、保護者の同意を得た上で計画書へ署名と押印をもらっている。 	